

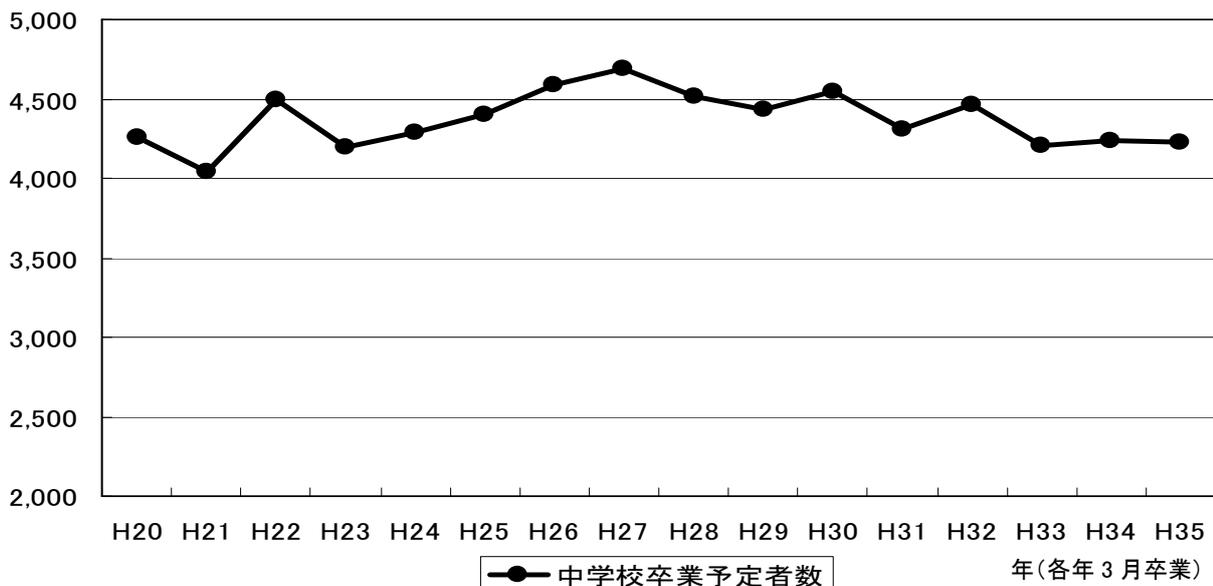
高松地域

○今後の高松地域の中学校卒業予定者数等の推移（見込み）

(単位:人、%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
卒業者数	4,254	4,046	4,499	4,191	4,291	4,399	4,584	4,693	4,517	4,438	4,544	4,311	4,467	4,204	4,241	4,226
指数	105.1	100.0	111.2	103.6	106.1	108.7	113.3	116.0	111.6	109.7	112.3	106.5	110.4	103.9	104.8	104.4
定員(H21定員×指数)	2,895	2,743	3,050	2,842	2,910	2,982	3,108	3,182	3,061	3,009	3,080	2,921	3,028	2,850	2,875	2,864

※平成35年度までは、現在の0～5歳児数、小中学校生徒数から推計
 ※各年度の定員は、平成21年度の定員及び比率を前提としている。
 ※社会増減は考慮していない。



○平成35年度の姿（現状維持した場合のイメージ）

平成21年度（現状）				平成35年度			
学校名	大学科	学級数(定員)		学校名	大学科	学級数(定員)	
三木	文理	2	(70)	三木	文理	2	(73)
	総合	2	(80)		総合	3	(84)
高松	普通	7	(280)	高松	普通	8	(292)
高松工芸	工業	7	(235)	高松工芸	工業	7	(245)
	美術	1	(25)		美術	1	(26)
高松商業	商業	6	(235)	高松商業	商業	7	(245)
	外国語	1	(40)		外国語	2	(42)
高松東	普通	6	(240)	高松東	普通	7	(251)
高松南	普通	3	(120)	高松南	普通	4	(125)
	農業	1	(35)		農業	1	(37)
	家庭	2	(60)		家庭	2	(63)
	看護	1	(35)		看護	1	(37)
高松西	普通	7	(280)	高松西	普通	8	(292)
高松北	普通	6	(223)	高松北	普通	6	(233)
香川中央	普通	6	(235)	香川中央	普通	7	(245)
高松桜井	普通	6	(240)	高松桜井	普通	7	(251)
高松第一	普通	7	(280)	高松第一	普通	8	(292)
	音楽	1	(30)		音楽	1	(31)

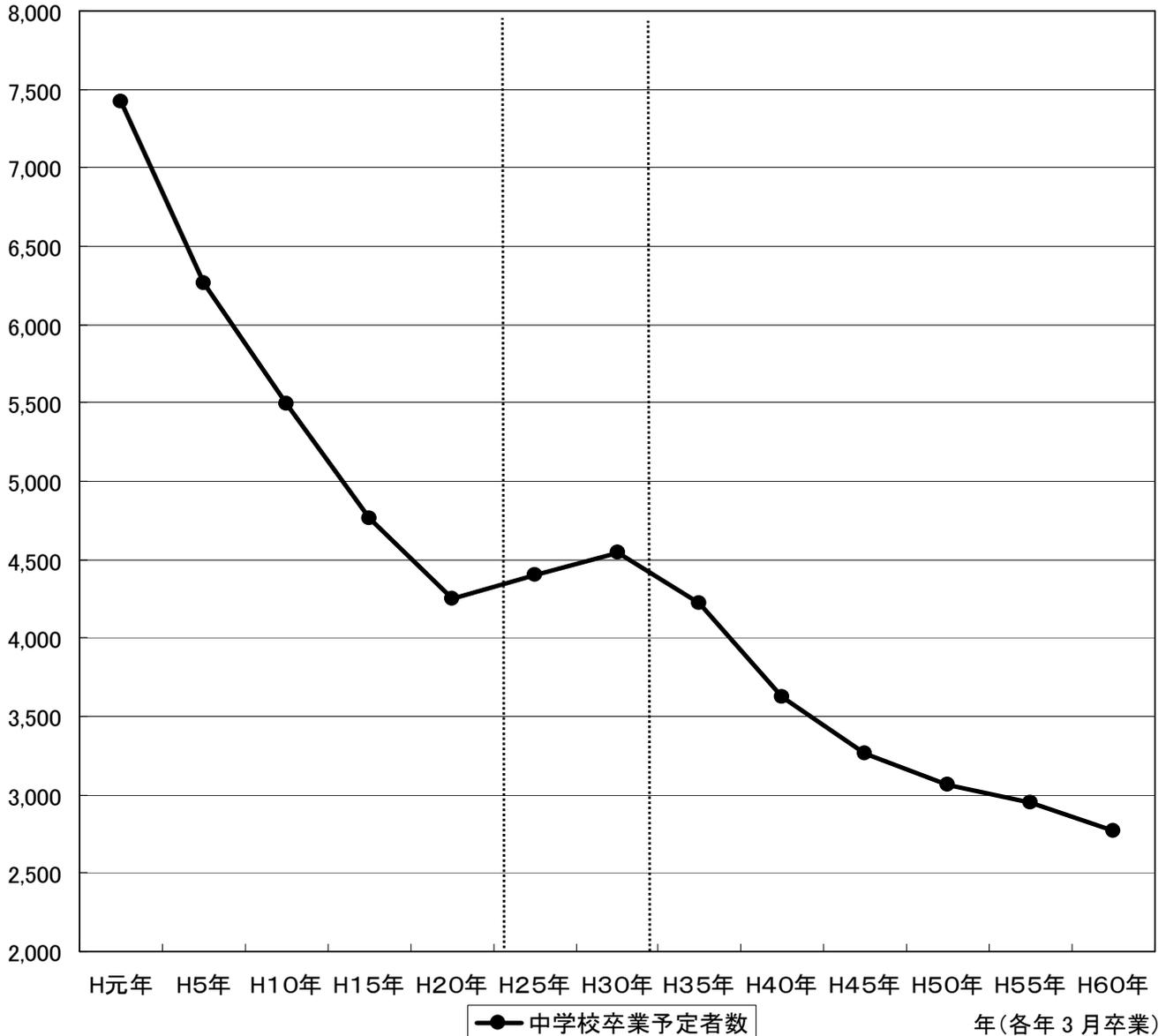
学科構成比(公・全日制) (単位:%)

普通科系	職業系	総合学科
(75.2)	(21.9)	(2.9)

※H21年度入学定員数による

※平成21年度の定員及び比率を基準に算出

○将来の高松地域の中学校卒業予定者数の推移（平成元年～60年）



※平成35年までは、現在の0～5歳児数、小中学校生徒数から推計

※平成40年～平成60年は、国立社会保障・人口問題研究所の市区町村将来人口推計より算定

(H20.12.1現在数)

○平成40～60年度の高松地域の公立高校の姿（生徒数推移から算出）

高松地域	平成21年度		平成40年度		平成50年度		平成60年度	
	定員	2,743 人	定員	2,455 人	定員	2,076 人	定員	1,879 人
学級数	72 学級	学級数	64.4 学級	学級数	54.5 学級	学級数	49.3 学級	
学校数	11 校	学校数	9.8 校	学校数	8.3 校	学校数	7.5 校	

※平成21年度の定員及び比率を基準に算出（平均38.1人／1学級、平均1学年6.5学級／1学校）

※市立高松第一高校を含む

(参考)

県立高校の学校・学科の在り方検討会議報告書（平成20年9月9日）

（高松地域における高校の在り方から抜粋）

（1）課題

- ①今後、高松地域への一極集中がより一層進み、周辺の高校が小規模化して活力がなくなること考えられる。
- ②私立高校も合わせて普通科が多い。また、中心的な役割を担う職業学科が配置されている。
- ③この地域の高校入試の志願倍率は、平成19年度1.29倍と他の地域に比べて高い。（県平均1.25倍）

（2）対応

- ①高松地域の定員を減らし、周辺地域の高校の定員を増やすことにより、小規模化を解消するという意見がある一方、高松への一極集中への対応は、周辺地域の学校の魅力を高めることによって行うべきであるとの意見もあった。
- ②この地域の高校入試の志願倍率が極端な高倍率にならないように配慮する必要があるのではないか。